

令和8年度(夏)宮崎大学公開講座

## 「源氏物語

### ～手習巻(中盤)を読む～」

集中講義予定

会場：錦本町ひなたキャンパス

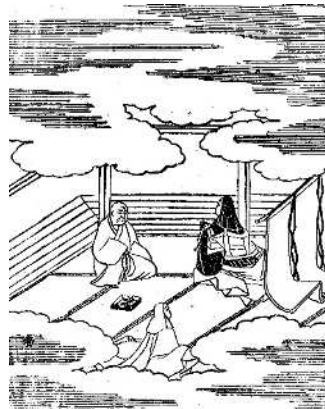
「源氏物語 ～手習巻(中盤)を読む～」とは、

今回は浮舟の出家までをお話しします。浮舟との出会いを初瀬観音の靈験と信じる妹尼は、本来の意味の「お礼参り」で再び初瀬に参詣します。無論、浮舟も誘ったのですが、妹尼と違い、靈験を信じない浮舟は断り、一人留守を守ることになります(当時の貴族の常識として、本当は身の回りの世話をする召使いはいるのですが、それはカウントされません)。

今でも恋愛モノの定番として良くあるシチュエーションですが、「親」が留守になると、チャンスとばかり男は近づいてくるものですから、この場合も中將がやって来て、浮舟は別室に逃れ、やっとのことで切り抜けます。しかし、中將に諦める様子はなく、再び来そうですから、何度もこの手は使えないというので、たまたま(ただ、源氏物語はフィクションですから「たまたま」はなく、作者がそのように運んでいるわけです)やって来た横川僧都に頼み、二度と男が近づかないよう出家させて貰います。妹尼がいれば当然反対するところですが、ここでもその不在が役に立つ。つまりこれも作者の仕込みということになります。

ただ、平安時代の常識としては、前にお話ししましたように、男に迫られ、いきなり「自殺」という発想はなく、「出家」が普通の選択肢ですので、ここで漸く「普通」に戻ったということになるはずなのですが、どうなのでしょう。それが出家の直後に詠まれた浮舟の手習歌に示されると思いますので、今回はそこまでお話しします。

自分で言うのも何ですが、私が研究者として初めて認められた学会で発表したところですので、是非ご一緒にお考えください。



講師：宮崎大学名誉教授  
博士(文学) 山田 利博

	期 日	内 容
第1回	令和8年8月22日(土) (10:30-12:00)	尼君、再度初瀬に詣でる
第2回	令和8年8月22日(土) (13:00-14:30)	中将来訪、浮舟別室に逃げ込む
第3回	令和8年8月23日(日) (10:30-12:00)	浮舟、出家す
第4回	令和8年8月23日(日) (13:00-14:30)	浮舟、手習に心を託す

#### 受講方法

1. 6月1日(月)から募集を開始します。お電話、FAX、E-mailにてお申込ください。

宮崎大学学び・学生支援機構共創人材育成課

受付時間：9：00～16：00(土日・祝日は除く)

電話：0985-58-7188 FAX：0985-58-7974

E-mail：chiikijinzai@miyazaki-u.ac.jp

申込時の情報は、公開講座に関する業務のみに利用され、その他の目的には利用されません。



2. 受講申込(仮予約)がお済みの方は、銀行窓口で受講料を納入してください。

受講料：3,000円(全4回分・消費税込)

入金期日：申込日より1週間

振込先：宮崎銀行 清武支店 普通預金

口座番号：57863

受取人：国立大学法人宮崎大学 (ダイ)ミヤザキダイガク

電話番号：0985-58-7122

注) 銀行窓口で受講料を納めた際は、振込金受取書を必ず受け取ってください。

領収書になりますので、大切に保管してください。

申込後、大学にて振込確認を行い、受講者名簿に登録させていただきます。これで、受講決定となります。

受講料について

受講料は銀行振込となります。当日の現金払いはお受けできません。

銀行振込の際には、振込手数料が必要となります。受講者の負担となりますのでご了承ください。

受講料は返還できませんのでご注意ください。